



撮影:©新 良大

国立西洋美術館

The National Museum of Western Art

開館時間

9:30~17:30

金曜日 常設展・企画展とも20:00まで

土曜日 常設展は20:00まで、企画展は展覧会により異なる

※入館は閉館の30分前まで

休館日

毎週月曜日および年末年始(12月28日-翌年1月1日)

- 月曜日が祝日または振替休日の場合は開館、翌日休館
- その他、臨時に開館・休館することがあります。

無料観覧日(常設展のみ)

毎月第2・第4土曜日、国際博物館の日、文化の日

常設展観覧料

	個人	団体(20名以上)
一般	500円	400円
大学生	250円	200円
高校生以下および18歳未満 65歳以上		無料
心身に障害のある方および付添者1名		無料
■ 企画展は別料金		

国立西洋美術館ホームページ

<http://www.nmwa.go.jp/>

お問い合わせ

03-5777-8600(ハローダイヤル)



- JR上野駅(公園口)下車 徒歩1分
- 京成電鉄京成上野駅下車 徒歩7分
- 東京メトロ銀座線、日比谷線上野駅下車 徒歩8分
- 当館に駐車場はございません。公園周辺にある有料駐車場をご利用ください。

独立行政法人国立美術館 国立西洋美術館

〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7

表紙: ダンテ・ガブリエル・ロセッティ 《愛の杯》(部分) 1867年 油彩、板
作品の保存、貸出等の状況により、掲載している作品をご覧いただけない場合がございます。
©2017 国立西洋美術館

国立西洋美術館

The National Museum of Western Art

館内のご案内

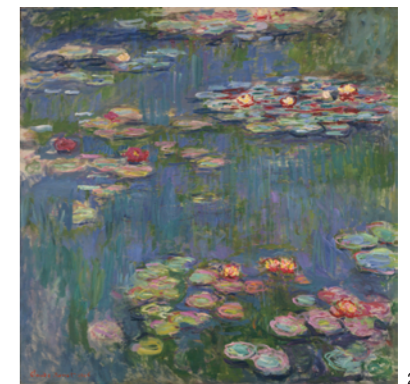
日本語



撮影:©上野剛宏

国立西洋美術館のコレクション

国立西洋美術館は、コレクションと展覧会を通じて西洋美術全般を広く紹介することを活動方針としています。この美術館の原点は、フランス近代の絵画・彫刻を中心とする「松方コレクション」にあります。実業家の松方幸次郎(1866-1950年)は、日本最初の西洋美術館の建設を目ざし、1916年から約10年のあいだにヨーロッパで膨大な数の美術品を収集しましたが、その後の変遷により多くの作品が散逸してしまいました。しかし、パリに残されていた約400点の作品は、第二次世界大戦中にフランス政府に接収され、戦後に日本へ寄贈返還されました。国立西洋美術館は、この「松方コレクション」を保存・公開するための施設として、1959年に設立しました。開館以来、山村徳太郎氏、梅原龍三郎氏、橋本貫志氏をはじめ多くの方々からのご寄贈と、継続的な作品購入により、美術館のコレクションは拡充が続いています。年間を通じて公開されている常設展では、中世末期から18世紀までのオールド・マスター絵画、19世紀後半の写実主義や印象派から20世紀半ばまでの近代絵画、ロダンを中心とした近代彫刻など、コレクションの中の代表的な作品をご覧いただくことができます。また、随時開催される小企画展では、そのつどテーマを設けて、版画・素描・工芸などを含むコレクションの多様な側面をご紹介します。常設展に関連して実施する様々なプログラムと合わせてお楽しみいただければ幸いです。



ル・コルビュジエ設計の本館

当館では、「松方コレクション」をはじめとする美術作品だけでなく、それらを保存・公開する建物も見どころのひとつです。1959年に建てられた「本館」は、フランスで活躍した近代建築の巨匠のひとりであるル・コルビュジエ(1887-1965年)の設計によるものです。「本館」は、コレクションの増加に伴い建物を拡張する「無限成長美術館」のアイデアを基にして建てられました。また、「本館」には彼が建物を設計するなかで追究してきた、新しい時代の建築の基礎となる理論やシステムが集約されています。柱・床・階段という単純な構造を基本のユニットとする《メゾン・ドミノ》の建築形式、古い西欧の石造建築では実現できなかった建築の可能性をまとめた「新しい建築のための5つの要点」、建築と身体との調和をめざして彼が考案した尺度「モデュロール」などです。

その後、コレクションの拡充と活動の展開に伴い、「新館(1979年)」と「企画展示館(1997年)」が増築されました。ル・コルビュジエの構想通りの増築ではありませんでしたが、「本館」は1998年に地域に根ざした優れた公共施設として建設省より「公共建築百選」に選定され、2007年には国の重要文化財(建造物)に指定されました。また、2016年7月には当館を含む「ル・コルビュジエの建築作品-近代建築運動への顕著な貢献-」が世界文化遺産に登録されました。当館では、貴重な文化財となった「本館」の魅力を、「世界遺産パンフレット」やボランティア・スタッフによる「建築ツアー」などで紹介しています。



1. オーギュスト・ロダン 《カレーの市民》1884-88年(原型)、1953年(鑄造) フランス 松方コレクション
2. クロード・モネ 《睡蓮》1916年 油彩、カンヴァス 松方コレクション

国立西洋美術館 館内マップ

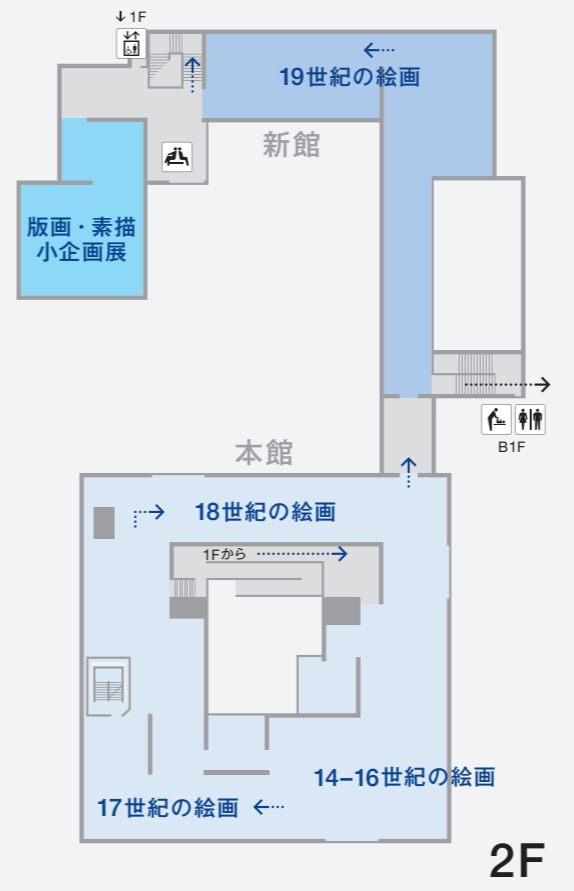
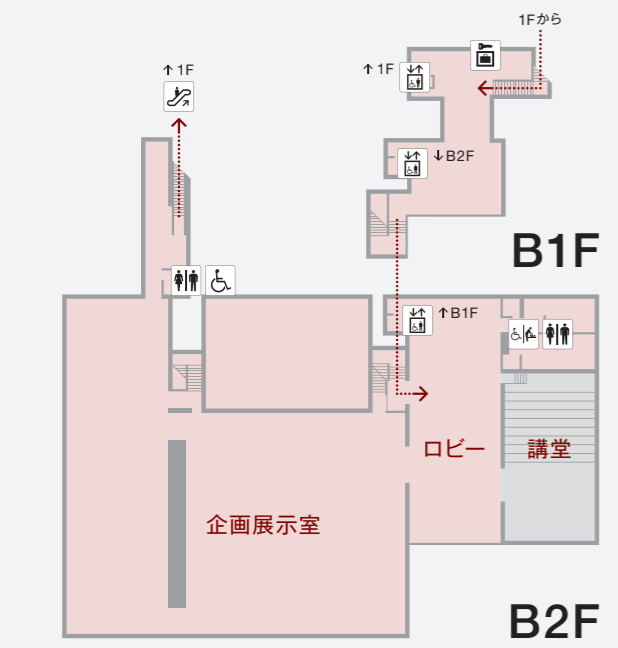
- フリーゾーン — 観覧券なしでご利用いただけます
- 常設展ゾーン —
 - 14-18世紀の絵画
 - 松方コレクションと19-20世紀の絵画
 - 版画・素描／小企画展
- 企画展ゾーン —



ミュージアムショップ



カフェすいれん



- インフォメーション
- エレベーター
- チケット売場
- エスカレーター
- 化粧室
- ロッカー
- 多目的トイレ
- カフェすいれん
- 身障者用化粧室
- 休憩コーナー
- ベビーシート

ご来館の皆様へ

美術館は子どもから大人まで、多くの方々にご利用いただく施設です。作品の保存と皆様の安全のためにルールを守り、他のお客様への心づかいをもって気持ちよく観覧いただければ幸いです。

- 作品に触れないようご注意ください。
- 展示室内では、鉛筆以外の筆記用具のご使用はご遠慮ください。
- 館内への傘の持ち込みはご遠慮願います。前庭の傘立てをご利用ください。
- お荷物はコインロッカー、もしくはクロークにお預けください。
- 展示室内での飲食、ガムはご遠慮ください。
- 館内での喫煙はご遠慮ください。
- 展示室内での携帯電話のご使用はご遠慮ください。
- 補助犬以外の動物を連れて入らないようお願いします。
- 企画展示室内での撮影は禁じられております。常設展示室内では、個人的かつ非商業的な利用目的に限り、ビデオ・写真撮影ができます。ただし、フラッシュ等の光を発するものや三脚等のご使用にならないでください。なお、混雑の状況等により、撮影を全面禁止にする場合もあります。

車椅子をご利用のお客様へ

当館の展示室および施設は、本館地下1階の休憩室を除いて、すべて車椅子でご利用になれます。上下階への移動には、スロープや車椅子対応エレベーターがございます。車椅子対応の化粧室は、本館1階および企画展示館地下2階にあります。車椅子の無料貸出をご希望の方は、正面入口前のインフォメーションでおたずねください。お困りのことがございましたら、ご遠慮なく係員へお声かけください。